

合併市町村基本計画の執行状況について【平成25年度】

(河内地域における主要事業)

①	道路新設改良事業	1
②	公共下水道整備事業	2
③	地域自治拠点整備事業	3
④	小・中学校校舎整備事業	4
⑤	小・中学校体育館整備事業〔平成22年度事業完了〕	5
⑥	小・中学校プール整備事業	6
⑦	中央公民館改修整備事業	7
⑧	総合運動公園整備事業〔平成21年度事業完了〕	8
⑨	岡本駅西土地区画整理事業	9
⑩	岡本駅前周辺整備事業	10
⑪	農村公園等整備事業	11
⑫	農道整備事業	12

事業名	① 道路新設改良事業【河内】	担当課	道路建設課
事業概要	都市間及び新市における地域間交通の円滑化や安全性・利便性を確保するため、市民が日常的に利用する幹線市道や生活道路などを整備する。		
答申内容	<p>計画されている8路線のうち5路線の整備が完了し、残り3路線のうち1路線についても事業が計画的に進められております。</p> <p>特に、市道20042号線については、通学路にもなっていることから、歩行者や自転車等の安全性に配慮のうえ、早期に整備が完了することを望みます。</p> <p>また、整備休止中の市道20227号線については、住民の利便性確保のため、整備の継続を望むとともに、未着手路線の市道20354号線については、整備中の路線の進捗状況を見極めながら、路線整備の有効性及び市民の利便性などを考慮のうえ、具体化に向けた検討が必要です。</p> <p>なお、合併市町村基本計画に掲げられた8路線以外の整備が必要な路線についても、計画的に整備されることを望みます。</p>		

●実施に向けた考え方				
旧町の継続事業を優先的に整備し、効果などを見極めながら推進する。				
●目標値及び目標値設定の考え方				
目標値	計画している8路線のうち、市道20216号線、市道20299号線、市道20271号線、市道20061号線、市道20065号線の5路線が完了し、残り3路線のうち、現在事業着手している市道20042号線について優先的に整備を進めていく。			
目標値設定の考え方	幹線道路及び生活道路の整備については、地域性にも配慮しながら、総合計画実施計画に計上して計画的に整備を進める。			
●平成25年度までの進捗状況（平成26年3月31日見込）				
	計画路線	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業内容	市道20216号線(H20完了) 市道20299号線(H22完了) 市道20271号線(H23完了) 市道20042号線(整備中) 市道20061号線(H24完了) 市道20065号線(H24完了) 市道20227号線(休止中) 市道20354号線(未着手)	市道20042号線 設計業務ほか ※20271号線完了	市道20042号線 用地取得ほか ※20061号線完了 ※20065号線完了	市道20042号線 用地取得ほか ※雨水管布設完了
予算額	—	120百万円	146百万円	164百万円
累計	—	462百万円	608百万円	772百万円
●平成26年度 of 取組み予定及び予算措置				
		【当初予算額 68百万円】		
・市道20042号線	調整池築造工事	43百万円(繰越明許費)		
	道路改良工事 延長130m	30百万円		
	用地取得ほか	38百万円		

事業名	② 公共下水道整備事業【河内】	担当課	下水道建設課
事業概要	生活排水の適切な処理による市民の快適な生活環境の確保や公共用水域の水質の保全を図るため、地域の実情に応じた汚水処理施設等を整備する。		
答申内容	<p>公共下水道の整備は、快適な生活環境の確保と豊かな自然環境を守り、河川の水質保全を図るためにも、たいへん身近で重要な事業であります。</p> <p>今年3月には事業計画区域が拡大され、河内水再生センターの処理施設の増設やポンプ場の新設を予定するなど、合併時から大きく進展しており、今後とも整備に力を入れていただくことを望みます。</p> <p>なお、下水道未接続者に対する働きかけを一層強化する必要があります。</p>		

●実施に向けた考え方

合併協定書に基づき、平成21年3月に公共下水道全体計画の見直しを行い、併せて事業計画を変更し、事業計画区域内の整備を着実に進めている。さらに、区域内の整備が進んできたことなどから、平成25年3月に事業計画区域の追加変更を実施した。今後も、変更した事業計画区域内の整備を進めるため、事業の優先度や効果等を精査した上で整備を進める。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	事業計画区域面積：650.2ha (整備予定面積) ※変更前528.0ha
目標値設定の考え方	事業計画区域面積は、事業計画において、整備を予定している区域面積であることから、目標値とする。 ただし、事業計画区域面積は事業計画の変更に伴い、区域面積の変更がある。

●平成25年度までの進捗状況（平成26年3月31日見込）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道污水管渠築造工事（下岡本町外）整備面積4ha. 特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事（中岡本町外）整備面積26ha. 河内水再生センター増設工事 	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道污水管渠築造工事（下岡本町外）整備面積4ha. 特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事（中岡本町外）整備面積9ha. 	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道污水管渠築造工事（下岡本町外）整備面積8ha. 特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事（中岡本町外）整備面積5ha.
予算額	674百万円	346百万円	324百万円
実績累計	370.3ha	385.6ha	
進捗率※	57.0% (70.1%)	59.3% (73.0%)	

※進捗率＝目標値の事業計画区域面積650.2haに対する実績累計の面積の割合
下段の（ ）は変更前の事業計画区域面積（528.0ha）に対する整備面積
平成25年3月追加区域：グリーントウン地区（79.0ha）、下田原地区（43.2ha）

●平成26年度の取組み予定及び予算措置

	【当初予算額 491百万円】
・公共下水道污水管渠築造工事（下岡本町ほか）	整備予定面積 3ha
・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事（中岡本町ほか）	整備予定面積 6ha
・河内水再生センター増設実施設計委託	
・大塚中継ポンプ場建設実施設計委託、建設工事	

事業名	③ 地域自治拠点整備事業【河内】	担当課	自治振興課
事業概要	住民サービスの提供体制の充実および地域住民の活動スペースを確保するため、新たに地域自治センターを整備する。		
答申内容	<p>新しい河内地域自治センターは、河内生涯学習センターと中岡本運動場を合わせた敷地に生涯学習センターとの合築により一体的に整備することが決定され、今年度の実設計が予定されるなど、平成28年度の供用開始に向けて本格的に整備計画が進んでいます。</p> <p>実設計の策定にあたっては、地域の要望や意見が計画に反映されるとともに、身近で質の高い行政サービスが享受でき、地域の住民が気軽に立ち寄れる施設を目指し、順調に整備が進むことを望みます。</p>		

●実施に向けた考え方	
地域の意見を参考にしながら策定する実設計(平成26年3月策定予定)に基づき、平成28年度の供用開始に向け、施設の整備に取り組む。	
●目標値及び目標値設定の考え方	
目標値	河内地域自治センターの整備
目標値設定の考え方	地域行政機関の地域のまちづくりの拠点としての機能を十分発揮できるように、老朽化への対応を行うとともに、まちづくりと人づくりの一体的推進を図るため、自治センターと生涯学習センターの一体的整備を進める。
●平成25年度までの進捗状況(平成26年3月31日見込)	
年度	事業内容
平成23年度	・「第2次宇都宮市地区行政推進計画」に、地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備を重点事業として位置づける。
平成24年度	・地元住民による河内地区自治拠点施設建設促進委員会との意見交換を行いながら、地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備の具体的な整備内容について検討
平成25年度	・地元住民による河内地区自治拠点施設建設促進委員会から提出された検討経過報告書も参考にしながら、河内地域自治センター・河内生涯学習センター改築に向けた実設計を実施
●平成26年度の取組み予定及び予算措置	
【当初予算額：平成26～27年度：1,477百万円】	
<ul style="list-style-type: none"> ・河内地域自治センター改築工事 平成26年度：570百万円 平成27年度：907百万円 	

事業名	④ 小・中学校校舎整備事業【河内】	担当課	学校管理課
事業概要	地震発生時の生徒の安全確保や地域住民の応急避難場所の確保などを図るため、老朽度や耐震性などを踏まえながら、地域内の小・中学校の校舎整備を進める。		
答申内容	<p>地区内の対象5校のうち3校の耐震補強工事が終了し、残りの2校についても目標年次である平成27年度までの整備完了に向け、今後とも、計画的な整備を望みます。</p> <p>また、学校は、災害時には地域住民の避難所となることから、それらに対応できる機能を備えた整備がすみやかに行われることを望みます。</p>		

●実施に向けた考え方			
<ul style="list-style-type: none"> 校舎の安全性の確保や機能復旧など、物理的な老朽化への対応、さらにバリアフリー化や耐震性を確保していく。 耐震化については、市耐震改修促進計画において平成27年度までに学校施設の耐震化を完了することとしているところであり、早期完了に向け取り組んでいく。 今後とも、児童生徒の安全を確保するため、定期点検を適切に実施していく。 			
●目標値及び目標値設定の考え方			
目標値	校舎耐震化（実施対象校5校：田原小，岡本小，岡本西小，古里中，田原中）		
目標値設定の考え方	平成27年度までに学校施設全ての耐震化を実施		
●平成25年度までの進捗状況（平成26年3月31日見込）			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業内容	・岡本西小学校校舎耐震補強実施設計	・岡本西小学校校舎耐震補強工事及び岡本小学校校舎耐震補強実施設計	・岡本小学校校舎耐震補強工事及び田原中学校校舎耐震補強実施設計
予算額	10百万円	170百万円	78百万円
実績累計	2校〔田原小・古里中〕	3校〔田原小・岡本西小・古里中〕	4校〔田原小・岡本小・岡本西小・古里中〕
進捗率※	40%	60%	80%
※進捗率＝目標値の校舎耐震化実施対象校5校に対する、校舎耐震工事完了校の割合			
●平成26年度の取組み予定及び予算措置			
			【繰越明許費 150.7百万円】
<ul style="list-style-type: none"> 田原中学校校舎耐震補強工事 田原中学校校舎耐震補強工事監理 			

※田原小学校 平成20年度耐震工事完了
 古里中学校 平成22年度耐震工事完了
 岡本西小学校 平成24年度耐震工事完了
 岡本小学校 平成25年度耐震工事完了

【平成22年度事業完了】

事業名	⑤ 小・中学校体育館整備事業【河内】	担当課	学校管理課
事業概要	地震発生時の生徒の安全確保や地域住民の応急避難場所の確保などを行うため、老朽度や耐震性などを踏まえながら、地域内の小・中学校の体育施設の整備を進める。		
答申内容	<p>体育館整備事業は、平成22年度の田原中学校の耐震補強工事をもって完了しました。</p> <p>なお、体育館などの公共施設は、地域住民の避難所として十分機能するよう、検討していくことが必要です。</p> <p>『平成23年8月5日の答申書より』</p>		

●実施に向けた考え方

- ・体育館は地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の緊急的な避難場所としての役割を果たすことから、早急に耐震化を実施していく。
- ・市耐震改修促進計画において平成27年度までに学校施設の耐震化を完了することとしている。
- ・特に、耐震化の緊急性の高い学校（2次診断でI s 値0.3未満）については、優先的に進めており、平成22年度中には校舎及び体育館の補強工事を完了する。それ以外の施設についても、緊急性の高い順に優先順位をつけ、平成27年度までの完了を目標に、計画的に整備を進めていく。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	体育館耐震化（実施対象校2校：岡本西小、田原中）
目標値設定の考え方	平成27年度までに学校施設全ての耐震化を実施

●事業完了（平成22年度）までの進捗状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業内容	・岡本西小学校体育館耐震補強実施設計	・岡本西小学校体育館耐震補強工事 ・田原中学校体育館耐震補強耐震診断及び実施設計	・田原中学校体育館耐震補強工事及び工事監理
予算額	4百万円	50百万円	90百万円
実績累計 (進捗率)	1校 (0%)	1校〔岡本西小〕 (50%)	2校〔岡本西小・田原中〕 (100%) ※整備完了

※進捗率＝目標値の体育館耐震化対象校2校に対する体育館耐震補強工事

※岡本西小学校 平成21年度耐震工事完了

田原中学校 平成22年度耐震工事完了

事業名	⑥ 小・中学校プール整備事業【河内】	担当課	学校管理課
事業概要	体育の授業や部活動など教育環境の充実を図るため、老朽度や耐震性などを踏まえながら、地域内の小・中学校の体育施設の整備を進める。		
答申内容	小・中学校のプールは、児童・生徒の体力向上を図るために必要不可欠な体育施設であるため、衛生面や安全面に配慮し、老朽化した施設の改修を計画的に進めることを望みます。		

●実施に向けた考え方			
今後とも、各学校施設の状況を勘案し、必要な予算を確保し対応する。			
●目標値及び目標値設定の考え方			
目標値	—		
目標値設定の考え方	—		
●平成25年度までの進捗状況（平成26年3月31日見込）			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業内容	・田原小学校プールろ過設備及び給排水ポンプ改修	岡本西小学校プール塗装工事	—※
予算額	10百万円	4百万円	—百万円
※岡本小学校のプールろ過装置については、平成25年度に再度点検を行ったところ、部品の保守整備により、正常に使用できる状況が確認されたため、ろ過装置の更新を延期した。			
●平成26年度 of 取組み予定及び予算措置			
【当初予算額 — 百万円】			

事業名	⑦ 中央公民館改修整備事業【河内】	担当課	生涯学習課
事業概要	市民の多様な学習ニーズに対応するとともに、学んだことを個性と魅力ある地域づくり活動に生かすことのできる場・機会を提供するため、老朽度や耐震性などを踏まえながら、生涯学習センターを整備する。		
答申内容	<p>新しい河内生涯学習センターは、生涯学習センターと中岡本運動場を合わせた敷地に河内地域自治センターとの合築により一体的に整備することが決定され、今年度の実施設計が予定されるなど、平成28年度の供用開始に向けて本格的に整備計画が進んでいます。</p> <p>実施設計の策定にあたっては、地域の要望や意見が計画に反映され、ひとづくりとまちづくりの拠点として気軽に集える施設を目指し、順調に整備が進むことを望みます。</p>		

●実施に向けた考え方	
地域の意見を参考にしながら策定する実施設計(平成26年3月策定予定)に基づき、平成28年度の供用開始に向け、施設の整備に取り組む。	
●目標値及び目標値設定の考え方	
目標値	利用者が安全かつ快適に利用できる生涯学習センターの整備
目標値設定の考え方	地域行政機関の地域のまちづくりの拠点としての機能を十分発揮できるように、ひとづくりとまちづくりの一体化を図るため、地域自治センターと生涯学習センターを一体的に整備を行う。
●平成25年度までの進捗状況(平成26年3月31日見込)	
年度	事業内容
平成23年度	・「第2次宇都宮市地区行政推進計画」に、地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備を重点事業として位置づける。
平成24年度	・地元住民による河内地区自治拠点施設建設促進委員会との意見交換を行ないながら、地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備の具体的な整備内容について検討
平成25年度	・地元住民による河内地区自治拠点施設建設促進委員会から提出された検討経過報告書も参考にしながら、河内地域自治センター・河内生涯学習センター改築に向けた実施設計を実施
●平成26年度取組み予定及び予算措置	
(再掲)	【当初予算額：平成26～27年度：1,477百万円】
・河内地域自治センター改築工事	平成26年度：570百万円 平成27年度：907百万円

【平成21年度事業完了】

事業名	⑧ 総合運動公園整備事業【河内】	担当課	スポーツ振興課
事業概要	すべての市民が目的に応じて、身近なところでスポーツに親しめるようにするため、河内総合運動公園の整備を進める。		
答申内容	<p>総合運動公園整備事業は、平成21年度に完了し、平成22年10月から多目的運動広場の供用が開始されました。</p> <p>なお、今後とも、憩いの場として、安全性や地域住民のニーズ等にも配慮し、利用しやすい環境づくりに努める必要があります。</p> <p>『平成23年8月5日の答申書より』</p>		

●実施に向けた考え方

旧河内町が、平成19年1月に県から事業認可を再取得した整備内容について、旧町の計画を前倒しし、平成21年度中に整備する。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	多目的広場整備工事 5.79ha (公園総面積12.8ha)
目標値設定の考え方	河内総合運動公園の完成を目指し整備工事を行うことから、未整備面積の全てを目標値とする。

●事業完了(平成21年度)までの進捗状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事 (移植, 駐車場整備, 園路広場等) ・電気設備工事 (照明搭本体等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・造園工事 (園路整備, バックネット整備, グランド整備等) ・電気設備工事 (放送設備等) ・機械設備工事 (散水設備) 	<p>《21年度事業完了》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的運動広場供用開始 (10月) <p>【河内総合運動公園全体を供用開始】</p>
予算額	250百万円	248百万円	－百万円
実績累計 (進捗率)	7,296百万円 (96.7%)	7,544百万円 (100%) ※当初計画事業の 整備完了	－百万円 (－)

※進捗率＝総事業費7,544百万円に対する実績累計の金額の割合

事業名	⑨ 岡本駅西土地区画整理事業【河内】	担当課	北部区画整理事業課
事業概要	安全で快適な魅力ある都市環境づくりや機能的な市街地の形成を図るため、岡本駅西地区における土地区画整理事業を進める。		
答申内容	<p>岡本駅西土地区画整理事業は、長期にわたり多額の財源が投入され、地域住民の理解と協力のもと、精力的な取り組みにより、着実に整備が進められております。</p> <p>今後も、地域住民の意見を取り入れ、魅力ある都市環境づくりと地域の発展のため、計画的な整備を積極的に進めるとともに、状況に応じて、整備区域外の市民に対しても、情報の提供がなされることを望みます。</p>		

●実施に向けた考え方			
<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の意向を把握しながら、仮換地指定の拡大を図り、広範囲にわたる複数箇所での建物等移転及び工事を行う。特に岡本駅西口広場の供用開始に合わせるため、広場にアクセスする都市計画道路整備を重点的に行う。 ・国庫補助等安定的な財源確保に努めると共に、事業の効果的、効率的な推進を図る。 ・事業の目的や整備効果について、戸別の仮換地交渉や建物移転交渉により明示すると共に、区画整理だよりの発行や出前相談会の開催を通し、地域住民に広く周知を行っていく。 			
●目標値及び目標値設定の考え方			
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費 26,000百万円 ・事業期間 平成35年まで ・事業進捗率（事業費ベース） 49.9%【平成25年度末】⇒52.4%【平成26年度末】 		
目標値設定の考え方	岡本駅西口広場及び岡本駅西線の整備を優先的に進める。		
●平成25年度までの進捗状況（平成26年3月31日見込）			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・仮換地指定(4.0ha) ・建物移転(46棟) ・道路築造(491m) ・整地造成(9,638㎡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮換地指定(2.3ha) ・建物移転(82棟) ・道路築造(650m) ・整地造成(16,495㎡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮換地指定(2.2ha) ・建物移転(37棟) ・道路築造(655m) ・整地造成(8,288㎡)
予算額	1,354百万円	1,440百万円	1,020百万円
実績累計	10,519百万円	11,953百万円	12,973百万円
(進捗率)※	(40.5%)	(45.9%)	(49.9%)
※進捗率＝目標値の事業費26,000百万円に対する実績累計の金額の割合			
●平成26年度の取組み予定及び予算措置			
【当初予算額 672百万円】			
(主な事業)			
道路築造工事	延長	693m	(都市計画道路・区画道路)
雨水排水関連築造工事	延長	500m	
整地工事	面積	9,000㎡	

事業名	⑩ 岡本駅前周辺整備事業【河内】	担当課	北部区画整理事業課
事業概要	岡本駅周辺地区において、地域交流拠点にふさわしい自立性の高い地域の「顔」を形成するため、駅西口駅前広場の整備とあわせながら、駅関連施設の整備などを推進し、交通結節機能の強化を図る。		
答申内容	<p>岡本駅前周辺地区は、宇都宮市都市計画マスタープランの全体構想において、本市北東部の地域交流拠点の一つに位置づけられていることから、早急に、整備に着手する必要があります。</p> <p>なお、整備にあたっては、岡本駅西土地区画整理事業の進捗状況に合わせてるとともに、地域の意見が反映されることを望みます。</p>		

●実施に向けた考え方

東西自由通路、橋上駅舎や東西駅前広場整備等の岡本駅周辺整備については、駅東西を一体的に捉えながら検討していくことが必要と考えており、岡本駅西土地区画整理事業の進捗状況や都市計画マスタープランを踏まえながら、岡本駅の交通結節機能の強化に向け、JR東日本を始めとする関係機関と協議調整を行いながら事業を推進していく。

東西自由通路、橋上駅舎については、JR東日本との協議を進め、平成26年度には工事着手し、駅西口広場の整備計画とあわせ早期の供用開始を目指す。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	駅関連施設（自由通路・橋上駅舎）の整備
目標値設定の考え方	本市北東部地域の玄関口に相応しい駅関連施設とするため、岡本駅西土地区画整理事業による駅西口広場の整備とあわせ、東西連絡機能の確保や駅機能の拡充など、交通結節機能の強化を図る。

●平成25年度までの進捗状況（平成26年3月31日見込）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 東西自由通路・橋上駅舎の基本設計 地域住民等へヒアリング調査を行い駅周辺地域の整備方針の作成と東西駅前広場の基本設計 	<ul style="list-style-type: none"> 東西自由通路・橋上駅舎の基本設計 東西自由通路・橋上駅舎の実施設計 東西駅前広場等の詳細設計 	<ul style="list-style-type: none"> 東西自由通路・橋上駅舎の実施設計 東西駅前広場等の詳細設計 駅西口電線共同溝詳細設計

●平成26年度 of 取組み予定及び予算措置

- 【当初予算額279百万円】
- 東西自由通路・橋上駅舎工事（工事期間：26～28年度）

事業名	⑪ 農村公園等整備事業【河内】	担当課	農林環境整備課
事業概要	地域住民の連帯感を高めるとともに地域の活性化を促進するため、下田原南部地区の圃場整備事業地内に、住民交流の場となる農村公園などを整備する。		
答申内容	農村公園等の整備は、地元の自治会等の意向を踏まえて、協議を行いながら進めることを望みます。		

●実施に向けた考え方

農業集落に係る農村公園の整備については、住民の健康維持・増進及び地域の連帯感を醸成し、住みよい集落づくりの促進を図るものであることから、地元との協議の実施やワークショップ等を開催しながら住民参加型の計画作りを進めていく。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	農村公園等の整備（下田原南部2ヶ所）
目標値設定の考え方	—

●平成25年度までの進捗状況（平成26年3月31日見込）

年度	事業内容
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> 下田原南部土地改良区（以下「土地改良区」という。）との打合せを実施（地元自治会への意向調査について）（7月） 意向調査の結果から、各自治会の考えを把握（8月） 意向のまとまった自治会と土地改良区の2者との打合せを実施（広場・駐車場・ビオトープ・農園などの設置要望有）（11月）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 農村公園整備のあり方等について、土地改良区等との協議を実施（2月）
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 農村公園整備のあり方等について、土地改良区等との協議を実施（7～8月）
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 農村公園整備のあり方等について、関係部署との協議を実施（1月）

●平成26年度の取組み予定及び予算措置

- 引き続き、農村公園整備のあり方等を検討
- 農村公園の整備内容について、地元自治会との協議

【当初予算額 — 円】

事業名	⑫ 農道整備事業【河内】	担当課	農林環境整備課
事業概要	農業生産性の向上や農産物流通の合理化，また，地域住民の社会生活環境の改善を図るため，農道の整備を進める。		
答申内容	地域の重要な産業である農業の生産性の向上と農業経営の合理化のため，農道整備が順調に進められております。 今後も，計画的に整備が推進されることを望みます。		

●実施に向けた考え方			
農道整備については，毎年度，一定の額を予算化し，全市域を計画的に整備しており，今後も順次整備することを予定している。			
●目標値及び目標値設定の考え方			
目標値	農道の整備（下ヶ橋河原，下田原南部）		
目標値設定の考え方	—		
●平成25年度までの進捗状況（平成26年3月31日見込）			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業内容	農道舗装工事 （285m）	農道舗装工事 （450m）	農道舗装工事 （500m）
予算額	5,600千円	8,200千円	8,160千円
実績	644m	482m	390m
●平成26年度の取組み予定及び予算措置			
【当初予算額 11百万円】			
県単農道舗装工事：下ヶ橋地区（延長＝236m）5.5百万円			
市直農道舗装工事：下ヶ橋地区（延長＝165m）2百万円			
県単農道舗装工事：下田原地区（延長＝142m）3.5百万円			